技術研究所　技術文書		Rev.0	P.　　　1／1
ジョブ名	JCSS 校正	作成日	作成者
校正内容の確認事項 （顧客殿へのお問い合わせ）		20XX 年 XX 月 XX 日	技術研究所

参 考 資 料

大変お世話になります。
標記の件、校正作業を詳細に検討するため、お忙しい中誠に申し訳ありませんが、
下記の表に、ご回答頂きたく、よろしくお願いします。

項目	貴社のご回答欄	弊社コメント
被試験流量計の 操作手順書の有無		メーカーの取扱説明書（必須）。 できましたら、貴社作成の操作手順書の有無。もし、どちらも無い場合は、別途打ち合わせ。
被試験流量計の 運転履歴 　使用環境 　使用ガス など		清浄なガスのみであることを希望します。（弊社校正装置へのスケール、パーティクルや化学物質などによる汚染防止のため）
被試験流量計の 上下流の継ぎ手の種類／材質		スエジロック、または VCR を希望します（ｵｽ、ﾒｽはどちらも可、ｻｲｽﾞも 1/2 ｲﾝﾁ程度までならｲﾝﾁ、ﾐﾘどちらも可）
被試験流量計の 運転圧力		被試験流量計入口圧力の条件など。大気圧設定であれば、弊社の圧力制御器で、絶対圧力表示で 101.3kPa-abs 程度に制御で OK でしょうか？ 校正時の被試験流量計の入口圧力／温度は校正証明書に記載します。
被試験流量計の 流量単位		弊社の標準器の流量単位は質量流量で、かつ瞬時流量、即ち g/min となります。従って顧客殿の流量計の表示が体積流量単位の場合は、その計算根拠となる、温度・圧力の値をお教え願います。 例：L/min（0℃、1atm 換算） また、表示器に表示される流量値の表示桁数は何桁ですか。
被試験流量計の 0（ゼロ）点の扱い		弊社では、依頼者の流量計の 0 点調整は原則行いません。校正値ではなく、特記として、何もガスを流していない時の表示値を記載します。即ち 0 点は校正点ではありません。
校正点		JCSS 校正では、通常フルスケールの 10%～100%の間で 2 点以上の測定です。測定する流量値は都度お打ち合わせいたします。